

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	真鶴港
指定管理者	真鶴町
指定期間	H21. 4. 1 ～ H26. 3. 31
施設所管課	砂防海岸課（ 県西土木事務所小田原土木センター ）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

**B**

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。  
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。  
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。  
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。  
（Dが2つ以上の場合）

<p>&lt; 1 管理運営等の状況 &gt; 事業計画書の内容どおりの取り組みを実施したのでB評価とした。</p> <p>&lt; 2 収支状況 &gt; 維持管理費用の増で小額の収支マイナスであるが、できるだけ自前でいう対応を評価し、B評価とした。</p> <p>&lt; 3 利用状況 &gt; ヨット係留者等との対話により経営努力を行っていることを評価し、B評価とした。</p> <p>&lt; 4 利用者の満足度 &gt; 下半期に実施予定。</p> <p>&lt; 5 苦情・要望等 &gt; 指定管理者に起因する苦情・要望について特記すべきものなし。日頃の維持管理努力を評価し、B評価とした。</p> <p>&lt; 6 事故・不祥事等 &gt; 真鶴町の研修などを通じ、事故・不祥事の防止に努めているので、B評価とした。</p> <p>&lt; 今後の方針等 &gt; 指定管理制度導入の趣旨を踏まえて、現場の施設状況のいっそうの把握を踏まえた経営努力がされるよう指導していきたい。</p>
---

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1  (指定管理業務)	真鶴港みなとまちづくり協議会を開催し、港湾利用者が意見交換することにより、港湾の有効な利用に係るイベントの開催を企画する。	真鶴港まちづくり協議会を開催し、港湾利用者と協力して8月に開催した豊漁豊作祭の場において、模擬店を出店して真鶴港一帯を賑わいの場として開放し、施設の有効利用を図った。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	真鶴港みなとまちづくり協議会の開催。	平成25年5月15日に真鶴港みなとまちづくり協議会総会を開催。 平成25年10月24日豊漁豊作祭協賛事業に向けた協議会を開催。
3 (指定管理業務)	真鶴町が主催する避難訓練と連携して、真鶴港において、津波避難訓練を実施する。	平成25年7月13日に真鶴町主催の津波避難訓練を真鶴港において実施した。真鶴港施設利用者の参加人数約30名。
4 (指定管理業務)	ヨットメンバー等との意見交換会によりその意見が港湾の維持等に反映できているか確認する。	平成26年1月に開催予定のヨットオーナーズクラブ総会に指定管理者も出席し意見交換を行い、港湾の維持に反映できているか確認する。
5 リストから選択	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月9日	5月24日	○	—	○	無	
5月	6月4日	7月11日	○	—	○	無	
6月	7月3日	8月8日	○	—	○	無	
7月	8月2日	8月15日	○	—	○	無	
8月	9月2日	10月2日	○	—	○	無	
9月	10月2日	11月7日	○	—	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

## 2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。  
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。  
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。  
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)					0			0
年度計画	前年度	15,758	0	0	15,758	15,758	0	0
	上半期	7,902			7,902	7,902		0
	下半期	7,856			7,856	7,856		0
	今年度	15,769	0	0	15,769	15,769	0	0
	上半期	7,902			7,902	7,902		0
	下半期	7,867			7,867	7,867		0
上半期実績	4月				0	1,352		▲ 1,352
	5月				0	1,204		▲ 1,204
	6月	4,451			4,451	1,601		2,850
	7月				0	1,214		▲ 1,214
	8月				0	1,246		▲ 1,246
	9月	3,451			3,451	1,306		2,145
	上半期合計	7,902	0	0	7,902	7,923	0	▲ 21
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② 0.3%	③	▲ 0.3%
参考	前年度 上半期実績合計	7,902			7,902	7,862		40
	対前年度 上半期実績比				0.0%	0.8%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	○	電気料金の値上げ分の支出が増加した。また、港湾施設の修繕・維持費がかさんでいるため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 10万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	594	琴が浜トイレ駐車場・防護柵補修工（594千円）
下半期		
合計	594	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

### 3 利用状況

評価 **B**

(評価の目安)

今年度上半期利用者が、  
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	ヨット等出艇数	前年同期出艇数	前年同期対比増減率
4月	185 艇	223 艇	83.0 %
5月	331 艇	298 艇	111.1 %
6月	272 艇	230 艇	118.3 %
7月	286 艇	293 艇	97.6 %
8月	436 艇	412 艇	105.8 %
9月	253 艇	278 艇	91.0 %
合計	1,763 艇	1,734 艇	101.7 %

	ヨット等出艇数	前年同期数	目標数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	1,763 艇	1,734 艇	1,700 艇	① 103.8 %	② 101.7 %
下半期計	— 艇	— 艇	— 艇	— %	— %
合計	1,763 艇	1,734 艇	1,700 艇	3.8 %	1.7 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	半期ごと	その他の場合の期間
	指定管理者提案値	その他の場合の基準

#### 利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

#### <参考>

##### 施設の最大利用可能人数

	ヨット係留施設						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	18						18
年間利用可能日数	365						
最大人数	6,570	0	0	0	0	0	6,570
半期	3,285	0	0	0	0	0	3,285

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

#### 4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **—**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A : 80%以上
- B : 60%以上～80%未満
- C : 40%以上～60%未満
- D : 40%未満 又は (A～Cにかかわらず) 「不満足」と答えた割合が50%以上
- : 今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果						0	0 ( )

※今年度の実施予定

上半期 0 回

下半期 2 回

その他

※配布・回収件数

配布      件

回収      件

回収率      %

※実施方法

リストから選択

リストから選択

リストから選択

リストから選択

#### 5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B : 指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した(苦情・要望等がない場合も含む)。
- C : 指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D : 指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

#### 報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	0	0
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )

苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

D

### 発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

### 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
( )		
( )		
( )		